



第1953回 例会プログラム 2023. 10. 4 (水)

開会点鐘 18:00 [例会内容]
 ロータリーソング 長泉RCと合同懇親会
 ゲスト・ビジター紹介 裾野「ドン・ボーノ」
 会長挨拶
 幹事報告・委員会報告 閉会点鐘 20:00

例会場 ; 米山記念館
 長泉町上土狩346-1
 TEL 055-986-2946

例会日 ; 金曜日
 12:30~13:30
 (月3回例会)

R I テーマ 『世界に希望を生み出そう』

会長 鈴木 義一
 副会長 勝又 明
 幹事 芹澤 豊
 裾野RC事務局 susonorc@gmail.com

第1952回 例会記録 2023. 9. 22 天気 : ☀
 会長挨拶 鈴木 義一

今日の例会は、せせらぎ三島ロータリークラブ様との合同例会です。
 一週間を振り返りますと、

◎ 16日(土)米山梅吉記念館秋の例祭に出席

県内外から多数の出席。副理事長から元気な長泉町の紹介。
 副理事長から元気な長泉町の紹介。記念講演 講師 リチャード・
 ダイク氏(東京RC)演題「元RI財団奨学生 日本から何を学ぶか?」

◎ 18日(月)敬老の日

私のところは、自治会長さんから紅白饅頭のお祝いがありました。
 65歳以上の高齢者は、総人口に占める割合29%世界一。80歳
 以上方は、10人に一人と日本は、長寿大国です。

◎ 20日(水)秋の彼岸入り

お団子やおはぎ、ぼたもちを作って仏壇に供え、先祖を供養し墓参
 りをします。彼岸花の生命力はすごいですね。(時機が到来すると
 パツと咲いて彼岸が明けるとパツと散る) 由来・・・お萩 秋
 ハギの花咲く季節に食べるので(粒あん) 〈牡丹餅〉 春 ボタン
 の花咲く季節に食べるので(こしあん)



会長指針 『始めよう 地域が望む奉仕作業』

◎ 21日(木)秋の全国交通安全運動実施

〈運動の重点〉

子供と高齢者を始めとする

歩行者の安全の確保

- ・夕暮れ時と夜間の交通事故防止及び飲酒運転等の根絶
- ・自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底・追突出会い頭事故の防止又、規制緩和で7月1日から電動キックボードは免許不要になりました。



幹事報告

裾野RC関係

- ・ 9/29は特別休会です。
- ・ 10/4(水)は、長泉RCとの合同例会です。「ドン・ボーノ」出欠を事務局まで。
- ・ 裾野高校の「トークフォークダンス」是非、登録ご参加ください。
- ・ 10/28(土)に「一枚の絵」が再演され、中村会員の御子息が振付をされます。裾野RCで協賛をいたしました。観に行ってください。
- ・ ハイライトよねやま(Vol.282)が届いています。

米山記念奨学

本日のスマイル

- ・ せせらぎ三島RC様・・・本日はお世話になります
- ・ 飯塚秀男 君・・・暑さ・寒さも彼岸まで。に期待しています。
- ・ 古田 貢 君・・・せせらぎ三島さん、いらっしやいませ！
- ・ 高瀬雄一朗 君・・・39歳になります
- ・ 鈴木義一 君・・・せせらぎ三島RC合同例会、宜しくお願いします。
- ・ 中村文男 君・・・せせらぎ三島RCの皆様、本日は宜しくお願いします。
- ・ 芹澤 豊 君・・・せせらぎ三島RCとの合同例会、楽しみです！
- ・ 杉山千恵 君・・・卓話やります！つまらなくても最後まで聞いて下さい！

【卓 話】

裾野市社会福祉協議会 会長 杉山 千恵（裾野RC）

1. 社会福祉協議会とは

皆様今日は。裾野RC
会員であり、かつ
裾野市社会福祉協議会
会長の杉山千恵です。



宜しくお願いいたします。社会福祉協議会、略して「社協」とは、社会福祉法第109条に基づき、全国、都道府県、市区町村を単位に設置され、地域福祉の推進を使命とし「公共性」「自主性」を併せもつ、民間の社会福祉団体です。また市町村社協はそれぞれが社会福祉法人格を有しており、地域の特性に合わせ独自の事業を展開しております。

2. 社協の成り立ち 社会福祉協議会は昭和26年、戦後の混乱期の中、GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)の政策により民間の社会福祉活動の強化をはかる為に全国および各都道府県の強化をはかるために発足しました。その後、さらに福祉活動への住民参加と、共同募金運動を地域で支える民間組織の強化等を目的として、各市町村においてもその組織化が進められていきました。市町村においてもその組織化が進められていきました。

3. 経営理念 ①地域住民を主体とした「ともに生きる豊かな地域社会」の実現 ②誰もが人格と個性が尊重され、その人らしい生活を送ることができる福祉サービスの実現 ③地域住民及び福祉組織・関係者の協働による包括的な支援体制の構築 ④地域生活課題に基づく先駆的・開拓的なサービス・活動の創出 ⑤持続可能で責任ある自立した組織経営

4. 事業紹介 ①地域福祉活動事業 ②在宅福祉活動事業 ③共同募金配分金事業 ④市受託事業 ⑤障がい福祉サービス事業 ⑥介護保険事業 知っていただきたい事業のみ紹介〈地域福祉活動事業「みんなの家」〉この事業は「シングルペアレント応援事業」という事業のメニュー項目として追加しています。シングルペアレントとはシングルマザー、またはシングルファザーの家庭のことで、本会では昨年よりこのような家庭、かつ収入が低い一定の家庭を対象に、月2回の配食、2ヶ月に1回の生活用品の配布(オムツ、ハブラシ、歯磨き粉、洗濯洗剤、食器用洗剤など)をしています。現在13件の家庭を支援しています。同時にシングルではないけれど、生活に困窮する世帯を対象に弁当の配布を同じように月に2回職員が届けており、こちらの事業は現在19世帯36人

の子どもへ配食を行っております。この事業は現在、共同募金の配分金を活用し実施しており赤い羽根の募金が困窮されている世帯への支援としてつなぐ仕組みとなっています。

〈地域福祉活動事業「住民参加型在宅福祉サービス」〉

この事業は、会員制による有償ボランティアが日常生活上の困りごとを「お互いさま」の気持ちでお手伝いすることで解決する仕組みのものであります。簡単に言いますと、一人暮らし高齢者で足が悪くゴミステーションまでゴミ出しに行けない人の困りごとを、本会職員が仲介し、お手伝いして下さる方を調整して派遣するといったものです。(主にご近所の方)昨年度は、ゴミ出しや庭の草取り、話し相手など252件のボランティアを派遣 することができました。(卒業したけど裾野高の生徒)

〈「すその高齢者施設芸術祭」〉

社協の生活支援コーディネーターが主となり、市内の高齢者施設の利用者の生きがいの創出と施設の理解を図ることを目的に年に1度芸術祭を開催しています。各施設の職員が実行委員として携わっております。この事業は、第1回から裾野ロータリークラブ様の後援をいただき以降継続して協賛をいただいております。毎年15の施設の約100名の方から作品のエントリーがあり、市長賞やロータリークラブ賞など沢山の賞を設け表彰式を行い、直接賞状を受賞された高齢者様へお渡しさせていただいております。

5. 最後に 裾野市社協では、子どもからご高齢の方対象の福祉事業を展開しています。そして本年度、新たな事業として ①市内一人暮らし高齢者80歳以上を対象に、残暑見舞を郵送いたしました。537人へ郵送 ②市内一人暮らし高齢者88歳の米寿祝い品の贈呈事業を現在行っており、対象者の25名程のお宅へお祝い品を地域の民生委員と本会スタッフが届けている最中であります ③認知症等による徘徊の恐れがある方を対象とした事業。早期発見を目的にQRコードのシールを着ている服などに貼付け、不審に思った発見者がQRをスマホでかざすことでご家族にメールが届き専用の掲示板で発見者とご家族がやりとりできるシステムの導入をはじめました。この仕組みは本来多くの市町行政がサービスを導入し展開しているものであり、社協がシステムを導入するケースは初めての事だそうです。市役所で対応できないものでも、住民が安心できる仕組みとして他市町でも導入例があるサービスですので導入を決めました。これら新規事業は県社会福祉協議会からの助成金を活用し実施しています。

本日(1952回)の出席報告 於: 米山記念館 2023. 9. 22				
会員総数	計算会員	出席者数	出席率	前々週修正出席率
12名	12名	10名(MU1名)	91.66%	%

次回予定 第1954回
2023. 10. 20 (金) 地区大会出席報告
発行者 鈴木 義一